群馬大学医学部附属病院

# 9 群大病院だより

GUNDAI NEWSLETTER

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39-15/TEL 027-220-7111代/ホームページ http://hospital.med.gunma-u.ac.jp/

#### 慢性的な待ち時間の緩和に 本院全体で取り組みます

病院長 田村 遵一

#### 慢性的な待ち時間の長さ 原因の一つは地域医療の連携不足

「第5回 日本の医療に関する意識調査」(出典:日医総研)によると、「受けた医療に満足していない」と回答した人の44.4%が、その理由に「待ち時間」を挙げています。

本院でも「外来の順番が遅い」「待ち時間が長い」というご意見をいただく度に、私たちも大変心苦しく申し訳なく思っています。

長い待ち時間の原因の1つに、地域医療連携のシステムがうまく働いていないことが考えられます。本院は、ほとんどの患者さんが地域の医療機関からのご紹介。本来ならば、患者さんの状態が一段落すると地域の医療機関に戻っていただくのですが、それがうまくいっていないために外来の患者さんが多くなっているのです。本院の一日の外来者数は、2,000人弱(=グラフ)。近隣の病院と比べても多い方ですが、比較的スムーズにいっている診療科もあります。つまり、取り組み方次第で改善ができるということです。

#### 患者さんの安心と便利を考え 地域での治療を勧める逆紹介の推進

待ち時間緩和のために必要なのは、原因である患者さんの滞りをなくすこと。それには、第一にご紹介いただいた患者さんの状態が良くなったら、地域にお返しする流れを確立させることです。幸い本院には協力いただける連携病院が県内に1,000近くあり、医師同士の連携も取れていますので、安心して地域にお任せできます。医師は患者さんの状態が良くなったこと、地元の医療機関でも同じ薬を出せること、そして何より通いやすいことなどのメリットを丁寧に説明し、合意を得る必要があります。ただ、本院でないとできない治療が必要な場合は、いつでも戻っていただけますのでご安心いただきたいと思います。第二に患者さん一人ひとりに対する心遣いです。患者さんの事情や希望に合わせたきめ細かな対応が不可欠です。そして、

地道だけれども大切なのは、県内の医師たちとの交流。幸い本院には大勢の人が集まれる講堂がありますから、定期的に勉強会や交流会を開いて人間的な付き合いを高め、患者さんが「その先生なら…」と安心するようなお話ができるようにしていきたいと考えています。



#### 待ち時間緩和に着手。結果に期待

現在、多職種が参加するワーキンググループを作り、さまざまな策を講じている最中です。本年度の後半から試験的なことを始め、年度内に明らかに混雑が緩和されるようであれば、取り組みを継続するつもりです。一番大事なのは、患者さんの安心・安全・便利。そのことを考え、実行することが、待ち時間の緩和、群馬県の医療の推進、教育研究に注力するという本院の役割の遂行など、すべてに渡って良い結果をもたらすのです。



※同規模9大学の平均の1日外来患者数は1,711人(H28)であり、当房は200人以上多い状況 (東京医科歯科、群馬、信州、三重、鳥取、広島、山口、徳島、鹿児島の9大学)









- ■慢性的な待ち時間の緩和に本院全体で取り組みます ……… ] ページ
- ■群大病院「医療安全週間」(6/19 ~ 23)………2ページ
- ■病院体験!① ひらめき☆ときめきサイエンス ………3ページ
- ■患者さんの声 ………………………4ページ
- ■看護助手募集・ボランティア募集 ……………… 4 ページ

### 

6/19~23

中央診療棟一階の廊下に色鮮やかに並ぶポスターの 前で、来院された多くの方に足を止めていただきまし た。すべての職員が患者さんの安全を第一に考え、医 療事故の再発防止を改めて意識するとともに、病院内 の活動や改革を来院される皆様に知っていただくため の取り組みとして、6月19日(月)~6月23日(金) を群大病院「医療安全週間」としました。

各部署の活動紹介ポスター 18 作品は日頃の活動が 伝わる力作ぞろいだったと思います。大変好評であっ たため、掲示を8月4日まで延長し多くの方にご覧い ただきました。院内の職員にとってもお互いの活動を 知る貴重な機会となりました。ポスターは院内の非医 療者、来院された方々に投票いただき、3点の優秀作 品を決定しました。

また、医療安全に関する標語を募集し掲示するとともに、優秀賞1点を選出しました。受賞作は「変えていく"意識"と"風土" 現場から」、現場から風土を変えるために一人ひとりの意識が大切だと改めて感じた作品です。



各部署の日頃の活動が、きれいなポスターで紹介されています



多くの方に見ていただきました



病院長から優秀作品が表彰されました



他病院で医療事故を経験したご遺族による講演 「対峙から対話」~大きな組織と歩む当事者の思い~



ご遺族の講演会には多くの職員が参加しました

院内職員向けには、2003年に他病院で医療事故を経験されたご遺族の講演会を行いました。演者の方は現在、医療者と患者・家族との対話の大切さを伝え、お互いの信頼関係を築くための活動をされています。 実体験からのお話は参加者の心に強く響き、医療者と患者が一緒に歩むということ、一人ひとりの人生を考える大切さを胸に刻みました。参加者からは、毎年開催してほしいとの声がたくさん寄せられました。

群大病院ではこれまで多くの改革を行ってきました。患者さんを中心としたわかりやすい医療を進めていくことはさらなる目標です。聞きたいこと、不安なこと、お気づきの点などありましたら遠慮せずに職員にお伝えください。 (医療の質・安全管理部長)

### 病院体験!① ひらめき人ときめきサイエン

### 『実際の手術室で学ぶ手術手技トレーニングの体験学習』 一将来の外科医を目指して一

8月5日(土)、群大病院の日帰り手術センターで行われた本セミナーには、中高生を対象に県内外から 31 名の参加がありました。腹腔鏡シミュレーターを中心に、縫合、電気メス、内視鏡などを実際の手術室 で体験し、参加者からは「とても楽しかった!」「将来は医師を目指したい!」との感想をいただきうれし い限りです。来年度も更に素晴らしいセミナーを開催できたらと思っています。







消化管内視鏡体験



電気メス体験

#### 病院体験!② 小中学生のための医学研究者・医師・看護師体験教室

8月7日(月)に体験教室が開催され、抽選の上、30人が参加しました!まず病院長から「命の大切さ」 などについての講義が、続いて、DMAT (災害派遣医療チーム) 隊員から被災地での活動報告や DMAT カー



DMAT へようこそ!

の見学が行われました。午後は3つのコース別に、内視鏡の手技や心肺蘇生法 などを学びました。2日目は台風の影響により取りやめとなってしまいました が、今後も私たちができる社会貢献の1つとして続けていきたいと思います。



胸の音、ちゃんと聴こえているかな?



ニターを観ながら腹腔鏡の練習だ

#### 病院探検!「病理部」

#### 『顕微鏡を通して患者さんを診察』

病理部・病理診断科は、診療科の1つですが、患者さんと直接接する 事はあまりなく、患者さんから採取された組織(細胞)を診断しています。 特に力を発揮するのががんの診断です。例えば、胃癌の組織は 20 種類以上存在します。それを細胞レベルで診断する事で、治療(手 術やお薬)が決まっていきます。臨床検査技師が組織を 1/1000

ミリで切って標本を作製、染色し、これを病理専門医が顕微鏡で観 察して診断が行われます。患者さんの顔は見えなくても、細胞レベ ルの診断を行い、患者さんの治療を支えています。



顕微鏡で細胞をみて診断中です



病理部の仲間たちです!

**GUNDAI NEWSLETTER** 第3号 2017年10月



## 意思者さんの声

中央診療棟とアメニティモールの境は 大きく曲がっていて、右側通行を守らない と危ないので、右側通行のマークをつけて ください。



このたびは、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。 通行者に右側通行を守っていただくため、中央診療棟とアメニティモールの間の進行方向 指示マークを増やしましたので、ご報告させていただきます。 医事課長

#### 笑顔の素敵な優しい方大歓迎です」

#### 看護助手募集

当院では看護助手のみなさんが活躍し ています。一緒に働きませんか。

落ち着いている 患者さんの 移送をします。

患者さんへ 食事を配膳します。



時給:970円 勤務: 4週8休 1日6~7時間 (週30~35時間)

シフト勤務



未経験でも大丈夫です。 看護助手の仕事に興味のある方、 詳しく知りたい方は、看護部まで お問い合せください。

#### TEL 027-220-8751

http://nurse.dept.showa.gunma-u.ac.jp

#### 病院ボランティアさん募集

当院では、ボランティアの方々の温かい手助け により、患者さんが心の安らぎを得られる環境づ くりができればと考えております。

ボランティア活動には、特別な資格を持たなく ても、患者さんのお役にたちたいと思っている方、 人と人とのふれあいを持ちたいと思う方であれば、 どなたでも参加することができます。



- ・案内と誘導
- ・身体の不自由な人のお手伝い
- ・車いすの介助 など



活動時間

- ・平日午前8時半~午後5時の間の都合の良い時間
- ・長期にできる方で週1~2日程度

申し込み/問い合わせ

医事課 Tel 027-220-7827 Fax 027-220-7832 E-mail volunteer-m@jimu.gunma-u.ac.jp

直接お話を聞きたい方は、外来棟1階総合案内までお越しください。

群馬大学医学部附属病院「群大病院だより」

第3号 2017年10月

編 集 ■ 群大病院だより編集委員会

発 行 ■ 群馬大学医学部附属病院

発行日 ■ 2017年10月17日

ホームページ http://hospital.med.gunma-u.ac.ip/

病院の理念

大学病院としての使命を全うし、 国民の健康と生活を守る。

基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。 次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。 明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。 医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。